



日本史の傾向と対策

推薦入試【傾向と対策】

一般入試【傾向と対策】

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A I方式 1月22日 問題▶P.115~	第1問	古代~中世	飛鳥時代~鎌倉時代(乙巳の変、仏像、壬申の乱、院政と武士の台頭、鎌倉幕府、藤原将軍)
	第2問	古代~中世	学校・教育に関する問題(大学別曹、儒学、藩校、蘭学塾、昌平坂学問所、学制、教育基本法)
	第3問	近世~現代	外交に関する問題(国防対策、日米修好通商条約、日清・日露戦争、満州事変、日中戦争)
A I方式 1月23日 問題▶P.118~	第1問	古代	仏教文化(物部氏と蘇我氏、古墳の変化、天平文化、白鳳文化、弘仁・貞観文化、鎌倉仏教)
	第2問	古代	律令制度(計帳、戸籍、令義解、租・調・庸、出挙、雑徭)
	第3問	近代	土地制度史(大宝律令、行政区分、墾田永年私財法、初期荘園、守護・地頭、惣村、村役人)
	第4問	近代・現代	憲法に関する問題(自由民権運動、私擬憲法、大日本帝国憲法、ポツダム宣言、日本国憲法)

傾向 テーマ問題の出題割合が多いが、標準レベルの問題が多く、文化史のレベルが高い。

1…出題形式

大問3~4つの構成で、小問数は1月22日と1月23日ともに36問である。

各大問はあるテーマを持って作成されており、解答方式はすべてマークシート方式である。また、空欄完成・正誤4択・年代配列・2文正誤問題などで構成されている。センター入試の出題パターンに準じている。

2…出題内容

今年度に限ったことではないが、古代の比重が高い。最大の特色は、仏教文化について詳しく取り上げていることである。たとえば、「白鳳文化」を代表する興福寺の仏頭を、写真で選択する問題が出題されている。古代の仏教文化では、

白鳳文化の理解にとどまらず、前後の飛鳥文化、天平文化を代表する仏像との違いを見分けることが求められている。しかも、教科書に記述があっても写真がないものも出題されている。

その他の問題も、ほとんどが土地制度・税制、教育、憲法、外交などのテーマ問題であるが、特に答えにくい問題ではなく、各時代の基本的な歴史的用語を問う問題となっている。

3…難易度

個々の問題で問われている内容は標準的な問題といえるが、仏教文化については、難易度の高い事項も出題されている。単に、文章で理解するだけでなく、寺院、仏像、仏教絵画などの実物を写真で確認できる力が必要である。

対策 教科書から始める段階的学習と知識の整理整頓。

1…教科書を中心に、段階的に学習を進めよう

第1段階では、大きな流れをとらえるため、教科書を読み込む学習が効果的である。あわせて、キーワードを答えさせる空欄補充の問題や、1問1答式の問題集も活用するとよい。

第2段階では、キーワードを答えられるだけでなく、その内容が理解できているか確かめるために、正誤問題に取り組むとよい。5W1Hの要素(いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どうやって)は分かっているつもりでも、正誤問題を解いてみると、自分の理解の不足している要素を発見できる。正誤問題で正答率が高まるということは、1問1答でも十分答える実力がついているということである。

第3段階では、政治史、経済史、文化史など、テーマ別の歴史を学習しよう。実際の入試問題では、「土地制度と税制」「教育制度史」などが出題されるので、テーマを聞いただけで、難易度が高くなっているのではないかと考えがちであるが、基本的な知識があれば乗り越えられる。しかしながら、テーマ問題に慣れておくことは大切である。

最後に、仏教史を中心とする文化史の難易度が高いので、資料集を用いた学習が重要である。今回は、典型的な仏像、平清盛と関係の深い文物を問う写真問題が出題された。これらの写真は、各時代の代表的なものではあるが、仏像については、教科書に掲載されているものばかりではない。資料集を手元に置いて、実物を確認しておこう。

2…文化史の問題の対策を

文化史は出題数に占める割合が高く、必ずしも基本的なものに限らない。特に、仏教に関する設問は必ず出題される。今回出題された仏教の受容から現代まで、仏教が日本の思想や文化に与えた影響は大きい。しかも、仏教はそれぞれの時代にあった形で変化を続けてきたため、出題はあらゆる時代で可能である。実際には、古代の飛鳥文化・白鳳文化・天平文化の比較、平安末期から鎌倉時代におこった新しい宗派についての出題傾向が高いといえる。特に、仏教美術の出題が多いため、建築、彫刻、絵画、工芸、書道の分野別に比較しておくとうい。

仏教について新しい流れが生まれ出る時代には、政治・経済・社会での大きな変化が起こっている。そうした背景についても学習を進める必要がある。

3…知識の整理整頓をする

既に授業や自習で十分な知識を蓄えていても、実際の入試の場で正答を引き出すには、知識を予め整理整頓しておく必要がある。

単に時代別に歴史用語を書き連ねるノートから、「文化史」「土地制度」といったテーマ別にノートに整理し直すことをお勧めする。また、関連する歴史地図や写真を貼るなど、自分なりに要点をまとめることが重要だ。